

# カーボンフットプリント (CFP) 算定シート 使い方マニュアル

大阪府 環境農林水産部  
脱炭素・エネルギー政策課

2024年 (令和6年) 6月



---

なぜ、いまカーボンフットプリント(CFP)が  
必要なのか

なぜ、いま  
カーボンフットプリント  
(CFP) が  
必要なのか



## 1. 消費者の視点



## 2. 企業のGHG排出量削減の視点



## 3. 政府・自治体のCFP推進の視点

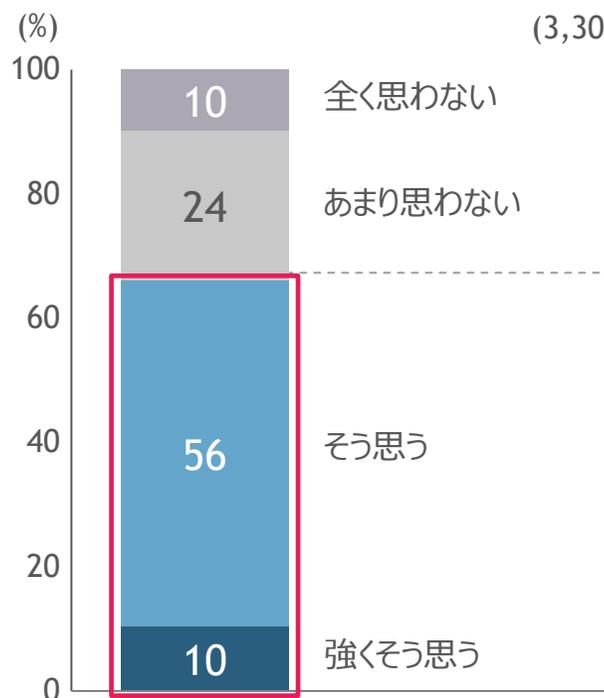
# 環境負荷の少ない商品を買いたいが、行動に踏み出せていない理由の上位は情報不足 既存の“サステナブル”、“エコ”といった表現から踏み込んだ情報提供が求められている

なぜ、いまCFPが必要なのか (1. 消費者の視点)

消費者の7割以上が、購買行動を変える意思を持つが、その半数は足踏み中

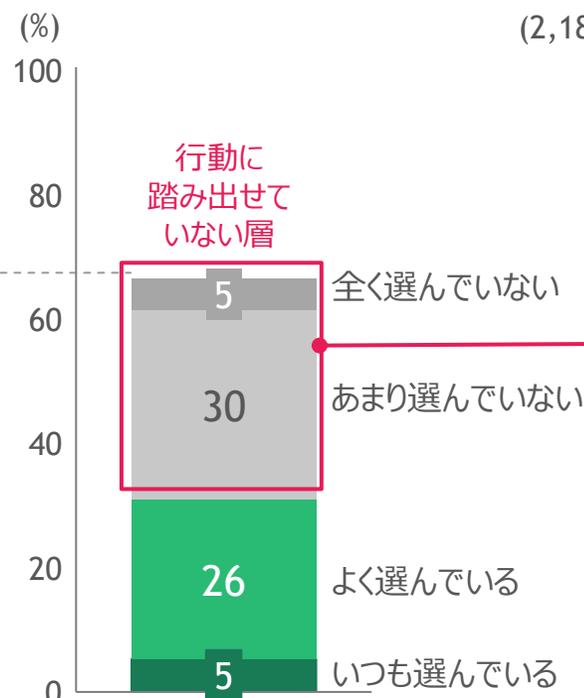
今後のお買い物で、環境に負荷をかけない商品を選びたいと思いますか?<sup>1)</sup>

(3,300)



今現在のお買い物で、環境に負荷をかけない商品を選んでいきますか?<sup>2)</sup>

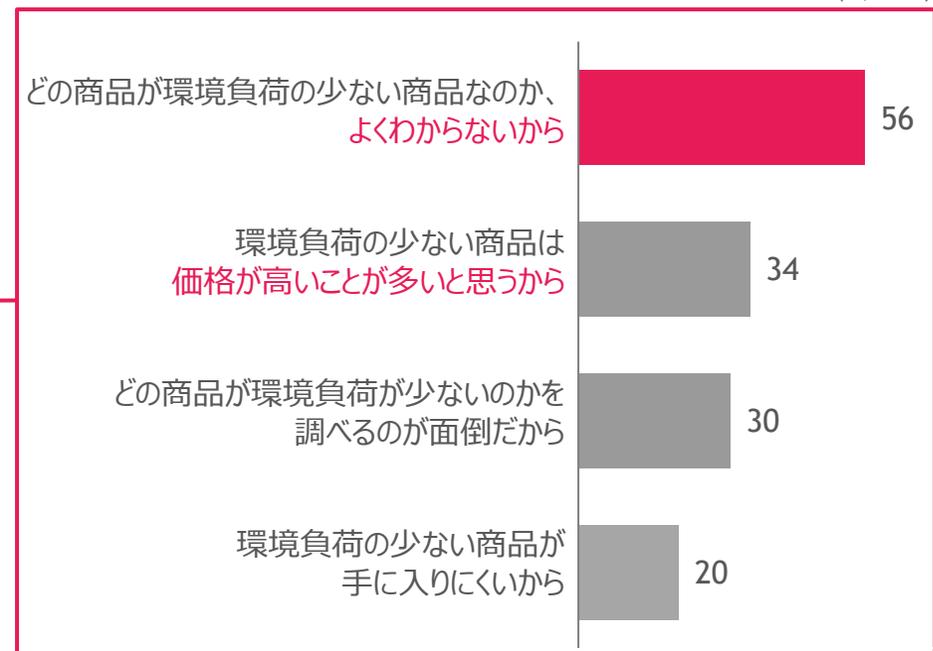
(2,182)



情報提供が最重要

今現在のお買い物で、環境に負荷をかけない商品を選んでいるのはなぜですか? (複数選択可)<sup>3)</sup>

(1,165)



1. 質問文: 「地球温暖化/気候変動」対策として、あなたは今後のお買い物で環境負荷の少ない商品を選びたいと思いますか (単一回答)

2. 質問文: 「地球温暖化/気候変動」対策として、あなたは今現在のお買い物において環境負荷の少ない商品を選んでいきますか (単一回答)

3. 質問文: 「地球温暖化/気候変動」対策として、あなたが今現在のお買い物において環境負荷の少ない商品を選んでいないのはなぜですか。あてはまるものを3つまでお選びください。10%以上の回答を抜粋

Note: () 内はn数

Source: ポストン コンサルティング グループ「サステナブルな社会の実現に関する消費者意識調査」(2024年1月調査、<https://www.bcg.com/ja-jp/publications/2023/understanding-a-sustainable-society>) 3

# 同時に、自社の排出状況を把握し、効率的に削減策を進めるためにも重要

なぜ、いまCFPが必要なのか (2. 企業のGHG排出量削減の視点)

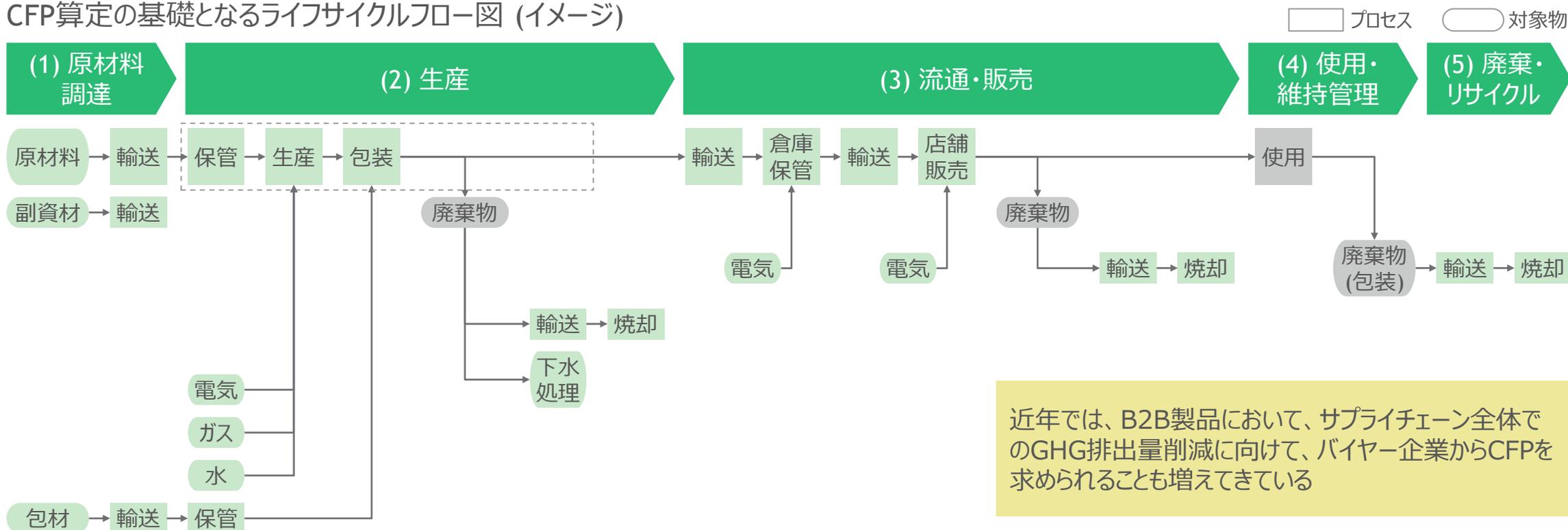
製品のライフサイクルの各項目に対する排出量を算定し、合計してCFPを算定

=製品毎のGHG排出量を包括的かつ詳細に把握可能

製品単位で排出量の多い項目を正確に把握することで、効率的な削減策を進めることが可能に

- 組織全体のGHG排出量算定では捉えられなかった部分も含めて、全体感をつかむことができる

## CFP算定の基礎となるライフサイクルフロー図 (イメージ)



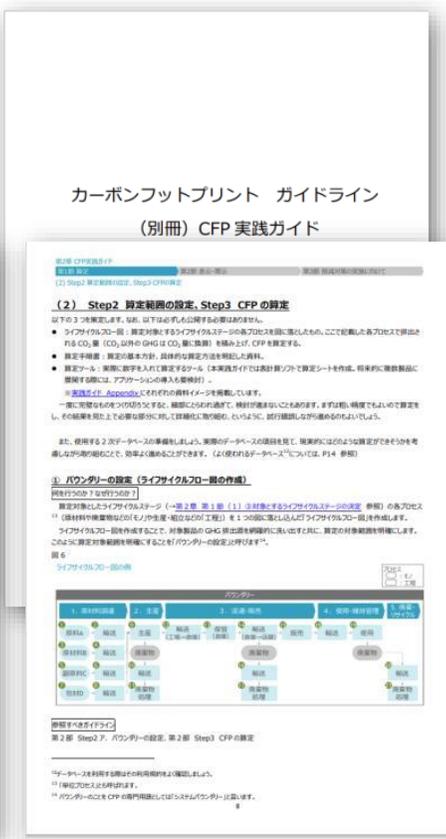
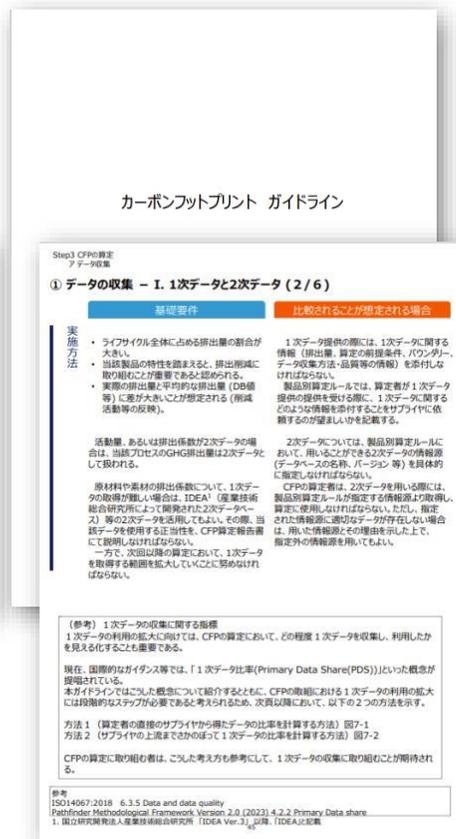
近年では、B2B製品において、サプライチェーン全体でのGHG排出量削減に向けて、バイヤー企業からCFPを求められることも増えてきている

# 政府による基本的な考え方の整理も進み、大阪府でもCFPのモデル事業が実施された なぜ、いまCFPが必要なのか (3. 政府・自治体のCFP推進の視点)

経済産業省 カーボンフットプリント検討会

経済産業省・環境省 カーボンフットプリントガイドライン、(別冊) CFP実践ガイド

大阪府 CFPモデル事業



江崎グリコ株式会社

サラヤ株式会社

三起商行株式会社

ミズノ株式会社

Source: カーボンフットプリント検討会資料 (経済産業省、[https://www.meti.go.jp/shingikai/energy\\_environment/carbon\\_footprint/pdf/20230331\\_1.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/carbon_footprint/pdf/20230331_1.pdf)); カーボンフットプリントガイドライン・CFP実践ガイド (経済産業省・環境省、[https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply\\_chain/gvc/files/guide/CFP20230703\\_001.pdf](https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/guide/CFP20230703_001.pdf)); [https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply\\_chain/gvc/files/guide/CFP20230703\\_002.pdf](https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/guide/CFP20230703_002.pdf); [https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply\\_chain/gvc/files/guide/CFP\\_jissen\\_guide.pdf](https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/guide/CFP_jissen_guide.pdf)); ボストン コンサルティング グループ作成

---

# カーボンフットプリント (CFP) 算定シート 使い方マニュアル

# 大阪府では、カーボンフットプリント（CFP）の算定シートを作成

## 目的

大阪府が掲げる「2050年にCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ、2030年度排出量2013年度比40%削減」を達成するためには、府内の事業者がサプライチェーン全体で脱炭素化に取り組む必要

そのためには、対象製品のCO<sub>2</sub>排出量の「見える化」、すなわちカーボンフットプリント（CFP）の算定が不可欠

府内事業者によるCFP算定をご支援したく、CFP算定シートを策定、府内の事業者に広く使っていただきたい

なお、CFP算定シート策定にあたっては、下記企業にモデル事業へのご協力をいただいた

- 江崎グリコ株式会社
- サラヤ株式会社
- 三起商行株式会社
- ミズノ株式会社

## CFP算定シートの概要

参照: CFPガイドライン、CFP実践ガイド<sup>1</sup>（経済産業省・環境省）、ISO14067: 2018

CFP算定シートは、以下の製品群ごとに作成されている

- 製品群ごとの特徴がつかみやすい
- あくまで一例であり、業界などでの合意を得たCFP算定シートではないことは注意が必要



食品

[https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/84355/seat1\\_food.xlsx](https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/84355/seat1_food.xlsx)



衣類

[https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/84355/seat2\\_clothing.xlsx](https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/84355/seat2_clothing.xlsx)



化粧品

[https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/84355/seat3\\_cosmetics.xlsx](https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/84355/seat3_cosmetics.xlsx)



スポーツ用品・  
プラスチック製品

[https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/84355/seat4\\_sports.xlsx](https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/84355/seat4_sports.xlsx)

## 利用時の注意点

1. **算定結果を公表**する場合には、**CFP算定報告書**を作成する必要がある
2. 算定する際には、算定に必要な数値だけでなく、その後の記録もかねて詳細を記しておくことを推奨する
  - 算定シートとは別に、算定方法を記す**CFP算定手順書**を作成することも望ましい

1. [https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply\\_chain/gvc/files/guide/CFP20230703\\_002.pdf](https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/guide/CFP20230703_002.pdf);  
[https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply\\_chain/gvc/files/guide/CFP\\_jissen\\_guide.pdf](https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/guide/CFP_jissen_guide.pdf)

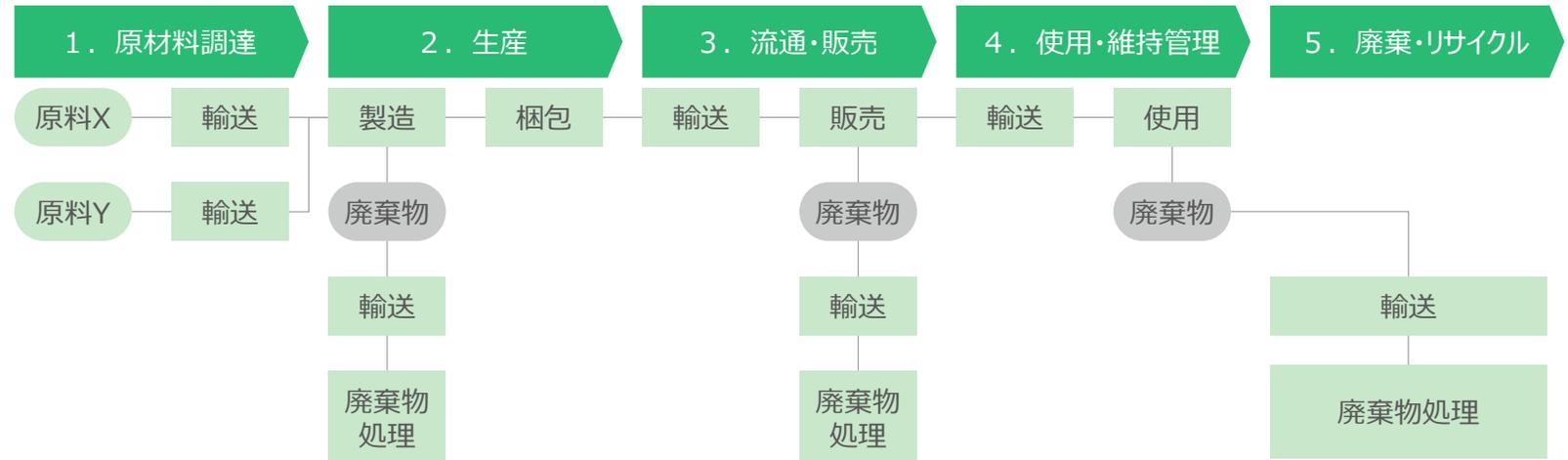
# CFPとは、製品の全てのプロセスで排出される温室効果ガス(GHG<sup>1</sup>)量の合計のこと



カーボンフットプリント(CFP)  
12.5kg-CO<sub>2</sub>e

製品が原材料調達から  
お客様によって廃棄される  
までに排出する温室効果  
ガスのCO<sub>2</sub>相当量

## 算定方法のイメージ



- 各プロセスの活動量に排出係数を乗じてGHG排出量を計算し、その合計がCFPとなる

### 活動量

原材料の重量、製造における電力投入量 など

(例)  原料Yの重量  
X.Xkg

### 排出係数

各プロセスの単位あたりGHG排出量

(例)  原料Yの排出係数  
XXkgCO<sub>2</sub>e/kg



1. Green House Gas の略で、気候変動に影響を与える温室効果ガスのこと  
Source: ポストン コンサルティング グループ作成

# 算定シートを用いたCFP算定の流れ: 各プロセスごとに温室効果ガス (GHG) 排出量を算出



**1 全プロセスの記載**  
 原材料調達～生産～販売・流通～使用・維持管理～廃棄・リサイクルまで全てのプロセスを記載

**2 排出係数の設定**  
 各プロセスに対応する排出係数の項目を設定し、数値を入力

- ガイドでは、2次データベースの1つであるIDEA<sup>1</sup>を利用する例を示す

**3 活動量の入力**  
 設定した排出係数の単位に合わせる形で活動量を入力

- データ出典もあわせて記載

**4 GHGの計算**  
 活動量に排出係数を乗じて、各プロセスのGHG排出量を算出  
 全プロセスの合計がCFPとなる

- 活動量と排出係数の単位が揃っているか (gとkg 等) 注意

1. 原材料調達段階					GHG排出量合計					
					0.00 kgCO <sub>2</sub> e					
原材料/投入物	プロセス		原材料使用量		排出係数データベース情報			GHG排出量		
	番号	名称	重量	単位	割合	データ出典	排出係数		基準単位	データ項目名
			(A): 手入力		自動計算	(B): 手入力			(C)=(A) × (B)	
(1)原材料	1	砂糖		g	0.0%	自社データ	1kg	精製糖	IDEA v.3.1	0.00 kgCO <sub>2</sub> e
	2	小麦粉		g	0.0%	自社データ	1kg	小麦粉	IDEA v.3.1	0.00 kgCO <sub>2</sub> e
	...	...		...	...	...	...	...	...	...
(2)包装	3	紙包装		g	0.0%	自社データ	1m <sup>2</sup>	特殊印刷用紙用紙	IDEA v.3.1	0.00 kgCO <sub>2</sub> e
	...	...		...	...	...	...	...	...	...
合計重量			0.00		0.0%					0.00 kgCO <sub>2</sub> e
輸送					GHG排出量合計					
					0.00 kgCO <sub>2</sub> e					
	プロセス		輸送重量	輸送距離	トンキロ	排出係数データベース情報			GHG排出量	
	番号	名称	kg	km	tkm	データ出典	排出係数	基準単位		データ項目名
			(A): 手入力	(B): 手入力	(C)=(A)/1000 × (B)	(D): 手入力				(E)=(C) × (D)
(1)原材料	4	砂糖 (調達先→生産工場)			0.00	重量 = 原材料重量、距離 = 調達先と生産工場の直線距離	1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO <sub>2</sub> e
	5	小麦粉 (調達先→生産工場)			0.00	重量 = 原材料重量、距離 = 調達先と生産工場の直線距離	1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO <sub>2</sub> e
	...	...		...	...	...	...	...	...	...
(2)包装	6	紙包装 (調達先→生産工場)			0.00	重量 = 原材料重量、距離 = 調達先と生産工場の直線距離	1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO <sub>2</sub> e
	...	...		...	...	...	...	...	...	...
										0.00 kgCO <sub>2</sub> e

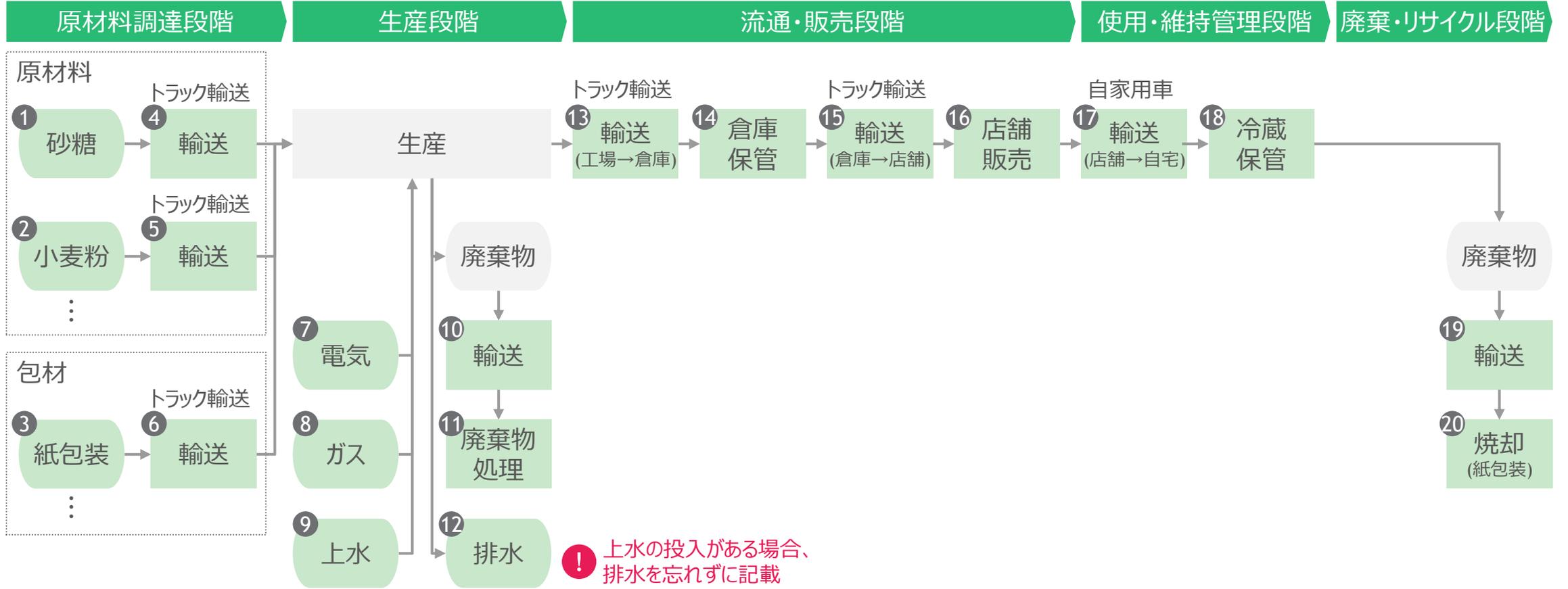
利用ガイド

算定結果

算定シート (例 食品)

# ステップ①: 対象製品のライフサイクルフロー図を書く

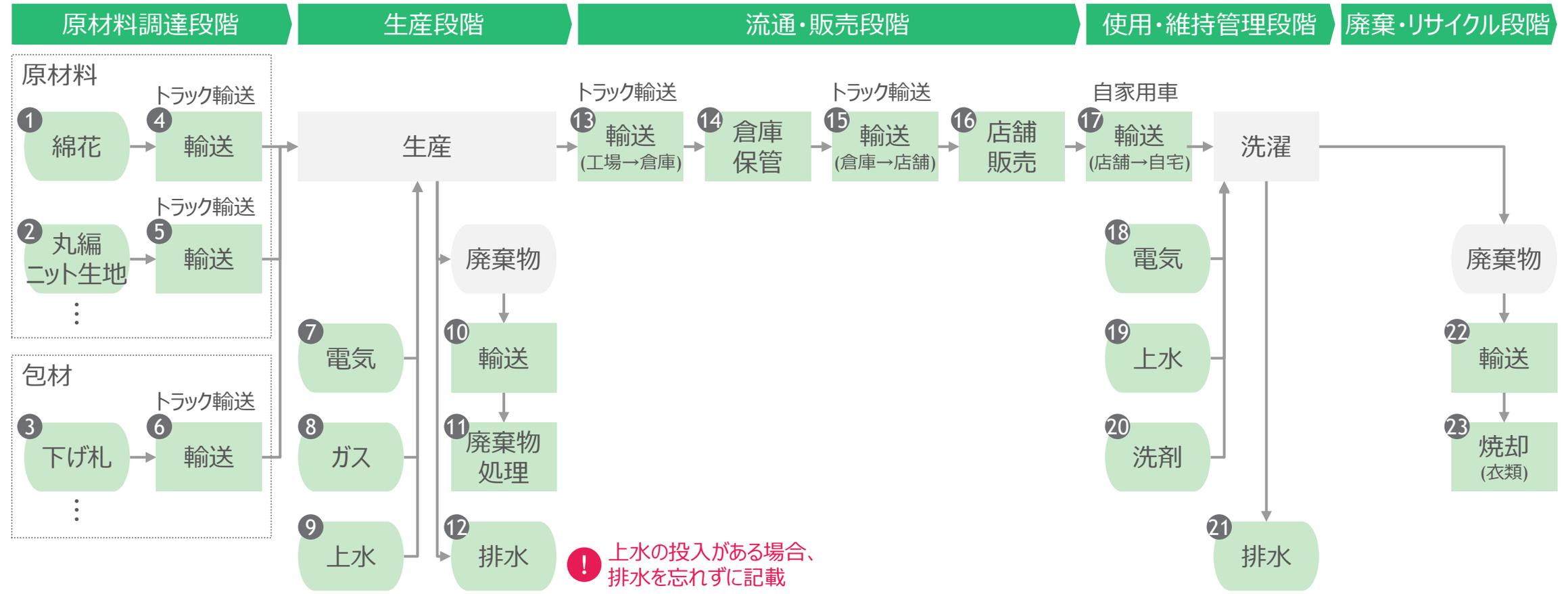
(サンプル: 食品)



上記フロー図に対応する形で算定シートにプロセスを記載 (番号を振ることで抜け漏れを防ぐことができます)

# ステップ 1: 対象製品のライフサイクルフロー図を書く

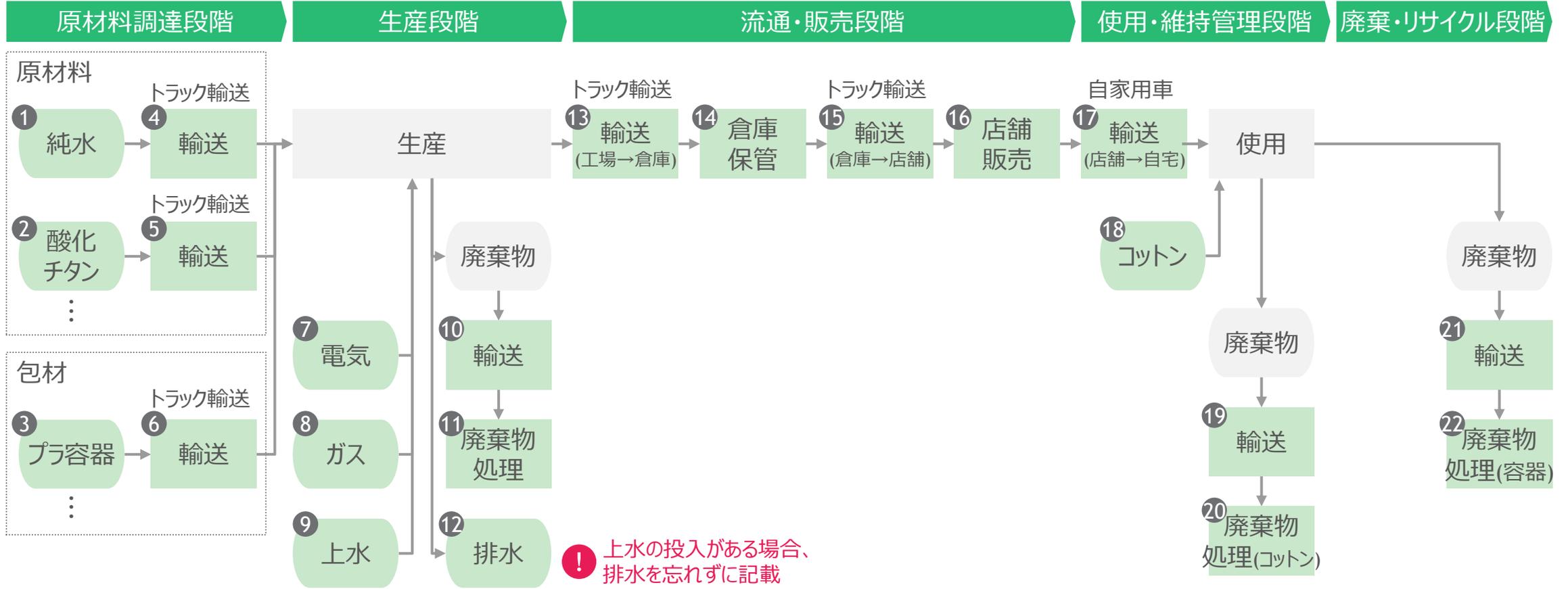
(サンプル: 衣類)



上記フロー図に対応する形で算定シートにプロセスを記載 (番号を振ることで抜け漏れを防ぐことができます)

# ステップ①: 対象製品のライフサイクルフロー図を書く

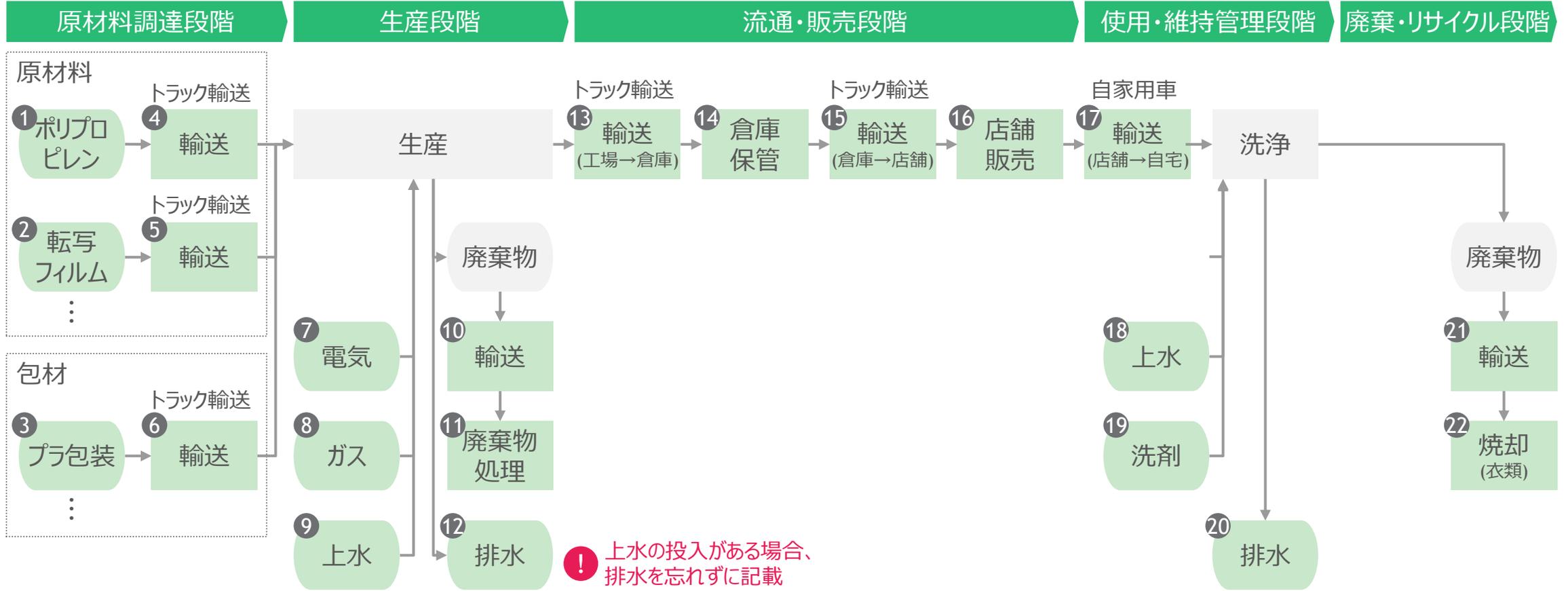
(サンプル: 化粧品)



上記フロー図に対応する形で算定シートにプロセスを記載 (番号を振ることで抜け漏れを防ぐことができます)

# ステップ 1: 対象製品のライフサイクルフロー図を書く

(サンプル: スポーツ用品・プラスチック製品)



上記フロー図に対応する形で算定シートにプロセスを記載 (番号を振ることで抜け漏れを防ぐことができます)





## ステップ②：対応する排出係数をデータベース (IDEA) で探し、製品名・数値・単位を記載

### IDEAにおける製品名の例

化粧品



製品名	IDEA製品コード	単位
純水	169919200pJPN	m3
グリセリン	163239213pJPN	kg
酸化チタン	162212000pJPN	kg
精製脂肪酸	164112000pJPN	kg
やし油	164115200pJPN	kg
陰イオン界面活性剤	164311000pJPN	kg
陽イオン界面活性剤	164312000pJPN	kg
印刷箱	145411000pJPN	円
プラスチック製中空成形容器	189211000pJPN	kg
包装用軟質プラスチックフィルム	182111000pJPN	kg

### IDEAの見方

【IDEA Ver.3.11の例】

IDEA製品コード	製品名	国	基準フロー	単位
011100000mJPN	玄米, 4桁	JP	1	kg
011111000pJPN	玄米	JP	1	kg
011111601rJPN	稲わら, 入力, リマインダーフロー	(REM)	1	kg
011200000mJPN	麦類, 4桁	JP	1	kg
011200601rJPN	麦わら, 入力, リマインダーフロー	(REM)	1	kg
011211000pJPN	小麦	JP	1	kg
011212000pJPN	裸麦	JP	1	kg
011213000pJPN	六条大麦	JP	1	kg
011214000pJPN	ビール麦	JP	1	kg
011219000pJPN	その他の麦類	JP	1	kg
011300000mJPN	豆類, 4桁	JP	1	kg

- Excelの検索機能で対応する製品名を探すことが有効
- 一致する製品名が無い場合は、類似の製品や大きなカテゴリで代替  
(例：薄力粉→小麦粉)

気候変動 IPCC 2013 GWP 100a
kg-CO <sub>2</sub> eq

- 排出される温室効果ガスを二酸化炭素相当量に換算した場合の重量のこと

### 【IDEAで対応する製品名を探すヒント】

- IDEA製品コードには9桁の数字が含まれており、上2桁は別表の日本標準産業分類の中分類番号に基本的に対応しています。そのため、水性・油性成分や界面活性剤等は「16」、化粧品のプラスチック容器や包装等は「18」から始まる製品コードが付されていることが一般的です。
- また、含まれている商品がわかりづらい場合には、別表の工業統計調査商品分類表も参考になります。

## ステップ②：対応する排出係数をデータベース (IDEA) で探し、製品名・数値・単位を記載

### IDEAにおける製品名の例

スポーツ用品・プラスチック製品



製品名	IDEA製品コード	単位
ポリエチレン	163516000pJPN	kg
ポリスチレン	163517000mJPN	kg
ABS樹脂	163517106pJPN	kg
ポリプロピレン	163518000pJPN	kg
塩化ビニル樹脂	163521000pJPN	kg
天然ゴム (ベトナム)	016911210pVNM	kg
合成ゴム	163611000pJPN	kg
成牛甲革	201111000pJPN	kg
合成皮革	182411000pJPN	kg
ゼラチン、にかわ	169411000pJPN	kg

### IDEAの見方

【IDEA Ver.3.11の例】

IDEA製品コード	製品名	国	基準フロー	単位
011100000mJPN	玄米, 4桁	JP	1	kg
011111000pJPN	玄米	JP	1	kg
011111601rJPN	稲わら, 入力, リマインダーフロー	(REM)	1	kg
011200000mJPN	麦類, 4桁	JP	1	kg
011200601rJPN	麦わら, 入力, リマインダーフロー	(REM)	1	kg
011211000pJPN	小麦	JP	1	kg
011212000pJPN	裸麦	JP	1	kg
011213000pJPN	六条大麦	JP	1	kg
011214000pJPN	ビール麦	JP	1	kg
011219000pJPN	その他の麦類	JP	1	kg
011300000mJPN	豆類, 4桁	JP	1	kg

- Excelの検索機能で対応する製品名を探すことが有効
- 一致する製品名が無い場合は、類似の製品や大きなカテゴリで代替 (例：薄力粉→小麦粉)

気候変動 IPCC 2013 GWP 100a
kg-CO <sub>2</sub> eq

- 排出される温室効果ガスを二酸化炭素相当量に換算した場合の重量のこと

### 【IDEAで対応する製品名を探すヒント】

- IDEA製品コードには9桁の数字が含まれており、上2桁は別表の日本標準産業分類の中分類番号に基本的に対応しています。そのため、プラスチックの原材料や製品は「16」や「18」、皮革は「20」からそれぞれ始まる製品コードが付されていることが一般的です。
- また、含まれている商品がわかりづらい場合には、別表の工業統計調査商品分類表も参考になります。

# 別表：ステップ②(関係) 日本標準産業分類(平成25年10月改定) (総務省, 2013)

大分類	中分類	大分類	中分類	大分類	中分類	大分類	中分類
A. 農業、林業	1 農業	E. 製造業	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業	I. 卸売業・小売業	56 各種商品小売業	P. 医療、福祉	84 保健衛生
	2 林業		29 電気機械器具製造業		57 織物・衣服・身の回り品小売業		85 社会保険・社会福祉・介護事業
B. 漁業	3 漁業		30 情報通信機械器具製造業		58 飲食物品小売業	Q. 複合サービス事業	86 郵便局
	4 水産養殖業		31 輸送用機械器具製造業		59 機械器具小売業		87 協同組合 (他に分類されないもの)
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	5 鉱業、採石業、砂利採取業		32 その他の製造業		60 その他の小売業	R. サービス業 (他に分類されないもの)	88 廃棄物処理業
D. 建設業	6 総合工事業	F. 電気・ガス・熱供給・水道業	33 電気業	J. 金融業、保険業	61 無店舗小売業		89 自動車整備業
	7 職別工事業 (設備工事業を除く)		34 ガス業		62 銀行業		90 機械等修理業 (別掲を除く)
	8 設備工事業		35 熱供給業		63 協同組織金融業		91 職業紹介・労働者派遣業
E. 製造業	9 食料品製造業	G. 情報通信業	36 水道業		64 貸金業、クレジットカード業等 非預金信用機関		92 その他の事業サービス業
	10 飲料・たばこ・飼料製造業		37 通信業		65 金融商品取引業、商品先物取引業		93 政治・経済・文化団体
	11 繊維工業		38 放送業		66 補助的金融業等		94 宗教
	12 木材・木製品製造業 (家具を除く)		39 情報サービス業		67 保険業 (保険媒介代理業、 保険サービス業を含む)		95 その他のサービス業
	13 家具・装備品製造業		40 インターネット付随サービス業	K. 不動産業、 物品賃貸業	68 不動産取引業	S. 公務 (他に分類されるものを除く)	96 外国公務
	14 パルプ・紙・紙加工品製造業	H. 運輸業、 郵便業	41 映像・音声・文字情報制作業		69 不動産賃貸業・管理業		97 国家公務
	15 印刷・同関連業		42 鉄道業		70 物品賃貸業		98 地方公務
	16 化学工業		43 道路旅客運送業	L. 学術研究、 専門・技術サービス業	71 学術・開発研究機関	T. 分類不能の産業	99 分類不能の産業
	17 石油製品・石炭製品製造業		44 道路貨物運送業		72 専門サービス業 (他に分類されないもの)		
	18 プラスチック製品製造業 (別掲を除く)		45 水運業	M. 宿泊業、 飲食サービス業	73 広告業		
	19 ゴム製品製造業		46 航空運輸業		74 技術サービス業 (他に分類されないもの)		
	20 なめし革・同製品・毛皮製造業		47 倉庫業		75 宿泊業		
	21 窯業・土石製品製造業		48 運輸に付帯するサービス業		76 飲食店		
	22 鉄鋼業	I. 卸売業・ 小売業	49 郵便業 (信書便事業を含む)		77 持ち帰り・配達飲食サービス業		
	23 非鉄金属製造業		50 各種商品卸売業	N. 生活関連 サービス業、 娯楽業	78 洗濯・理容・美容・浴場業		
	24 金属製品製造業		51 繊維・衣服等卸売業		79 その他の生活関連サービス業		
	25 はん用機械器具製造業		52 飲食物品卸売業	O. 教育、 学習支援業	80 娯楽業		
	26 生産用機械器具製造業		53 建築材料、鉱物・ 金属材料等卸売業		81 学校教育		
	27 業務用機械器具製造業		54 機械器具卸売業	P. 医療、福祉	82 その他の教育、学習支援業		
			55 その他の卸売業		83 医療業		

# 別表：ステップ②（関係）IDEAの項目に何が含まれているかがわかりづらい場合は、工業統計調査商品分類表を参照

工業統計調査商品分類表(平成26年改定) (経済産業省, 2014)

(例) トマトケチャップの排出係数をIDEAから探したい場合

## IDEAのソース関連の製品名

製品名	IDEA製品コード	単位
ソース, 4桁	094300000mJPN	kg
ウスター・中濃・濃厚ソース	094311000pJPN	kg
その他のソース類	094319000pJPN	kg
マヨネーズ	094319000pJPN	kg



トマトケチャップの排出係数を調べたいが、IDEAに製品名がない。  
“その他のソース類”にあたりそうだが、何が含まれているのだろうか？

## 商品分類表を参照

## 商品分類表のソース関連の製品名

0943 ソース  
0943 11 ウスター・中濃・濃厚ソース  
0943 19 その他のソース類

トマトケチャップ、マヨネーズ、トマトピューレ、トマトソース、ドレッシング等



トマトケチャップは“その他ソース類”に含まれていることが確認できた

# ステップ③: 排出係数の単位に合うように各プロセスの活動量 (重量や電力量 等) を収集

(1) 配分について

## 算定のポイント

各プロセスについて、算定対象固有の活動量データが取得できない場合は、「配分」を選択する

- 「配分」とは、例えば工場生産における製品Aの電力使用量を直接取得することが難しい場合に、工場全体の電力データを取得した上で、重量や個数等に応じて製品Aの相当分として割り振る考え方

## 配分のイメージ

配分の方法は、重量ベース、個数ベース、体積 (容積) ベース、金額ベース 等

工場で生産している製品	工場全体の年間電力消費量	年間生産量に占める割合 (重量ベースの場合)	各製品の年間電力消費量
製品A	100万kWh	60% (= 生産量30トン/総生産量50トン)	60万kWh
製品B		30% (= 生産量15トン/総生産量50トン)	30万kWh
製品C		10% (= 生産量5トン/総生産量50トン)	10万kWh

## ステップ③: 排出係数の単位に合うように各プロセスの活動量 (重量や電力量 等) を収集

(2) シナリオについて

### 算定のポイント

各プロセスの活動量の1次データ (配分含む) が取得が難しい場合は、「シナリオ」を設定することが可能

- 「シナリオ」とは、一定の根拠や合理性をもとに、活動量の代替値を推計する考え方のこと

### シナリオのイメージ

❗ 下記はあくまで考え方の一例であり、算定する製品それぞれの実態に応じて個別のシナリオを設定する必要がある



#### 原材料や製品の輸送距離

- 原材料Aは世界各国から調達しているが、特にB国、C国、D国からの調達量で計●●%を占めていることから、原材料Aの輸送はこれらの国からの距離の加重平均として、●●kmを設定
- 日本全国に広く店舗展開しているため、工場→店舗の輸送は、各都道府県への平均距離として●●kmを設定



#### 冷凍製品販売時の電力

- 店舗に導入されている冷凍ショーケースの定格電力 (●●kW) を前提に、製品Eが当該ショーケースの●●%の容量を占めており、かつ、店頭で滞在する日数が平均●●日であることから、消費電力量は●●kWhと推計



#### 電子レンジによる調理の電力

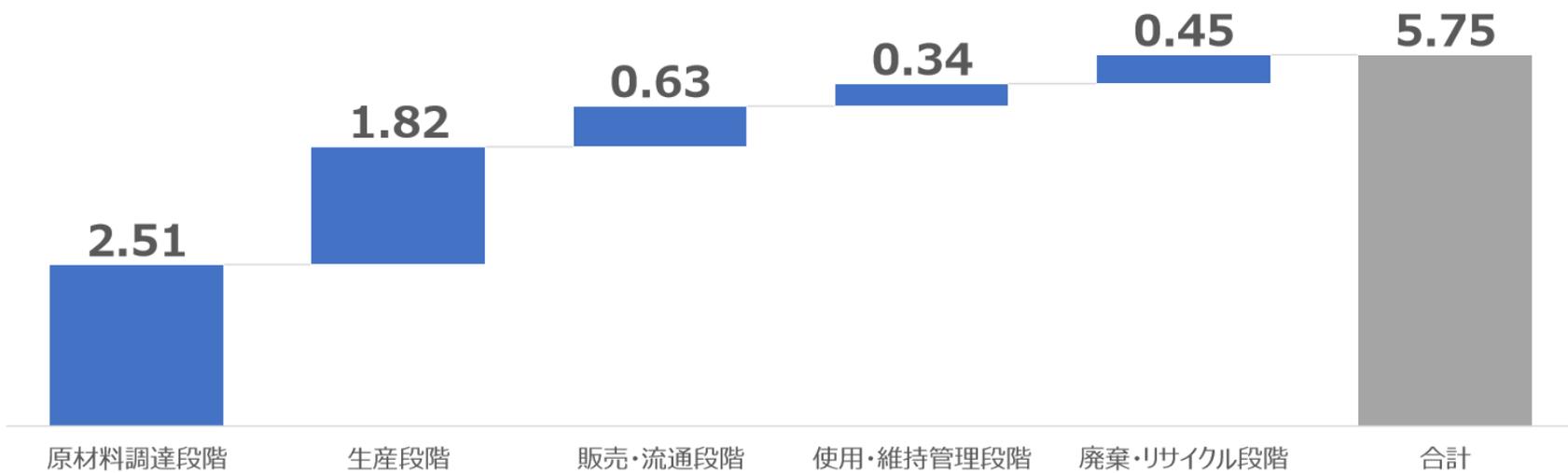
- 一般的に普及している電子レンジの定格電力 (●●kW) を前提に、製品包装の記載通り (電子レンジ●●秒) に調理するものとして、消費電力量は●●kWhと推計

# ステップ④：各プロセスのGHGの合計値として、CFPを算定

## CFP算定結果

数値はイメージ

原材料調達段階	<b>2.51</b> kgCO <sub>2</sub> e
生産段階	<b>1.82</b> kgCO <sub>2</sub> e
販売・流通段階	<b>0.63</b> kgCO <sub>2</sub> e
使用・維持管理段階	<b>0.34</b> kgCO <sub>2</sub> e
廃棄・リサイクル段階	<b>0.45</b> kgCO <sub>2</sub> e
合計	<b>5.75</b> kgCO <sub>2</sub> e



利用ガイド 算定結果 算定シート (例 食品)



CFP無料相談窓口を開設しています。CFP算定シートや使い方マニュアルなどに対するご質問に対応いたします。

相談受付期間

- 2024/7/1～2024/12/31

CFP算定シートの使い方や説明も含めたセミナーや、CFPの算定ワークショップも開催いたします

CFPセミナー：2024/7/31(水)14:00-15:30

- CFPの概要、CFPの取り組み方 導入編

CFPワークショップ：第1回 9/6(金)、第2回10/30(水)  
(2回連続講座)

- 第1回：CFPの取り組み方 実践編、模擬算定に挑戦
- 第2回：CFPよくあるお悩み解説、CFPモデル事業参加企業の声 など

詳細はリンク先をご確認ください

- <https://bcg-jp.com/release/4526>

担当： 大阪府 環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課

事務局： ポストン コンサルティング グループ合同会社

発行： 2024年6月